

開催結果（要旨）	
専門部会名	名寄市総合計画（第3次）中間報告会
開催日時	令和8年7月6日（月） 18時30分 ～ 19時30分
開催会場	駅前交流プラザ「よろーな」大会議室
参加者数	31名
次第	1 開 会（副市長 橋本 正道） 2 挨拶（市長 加藤 剛士、名寄市総合計画審議会長 結城 佳子） 3 報告事項 ・名寄市総合計画（第3次）の概要について（総合政策部長 石橋 毅） ・名寄市総合計画審議会での議論経過について （名寄市総合計画審議会長 結城 佳子） 4 質疑応答 ⇒質疑内容は2ページ目以降のとおり 5 閉 会（副市長 橋本 正道）

発言内容	質疑応答の内容について (質問１) 市 民：今回の総合計画について、前のプロジェクトから変わった点や「名寄市のここが良い」というコンセプトは非常に強く伝わりました。これらを踏まえ、前回（第2次総合計画）から今回の第3次計画にかけて、大きく変わったポイントについて、抽象的な内容でも構いませんのでお聞かせいただけますでしょうか。 石橋総合政策部長：前回の計画との比較として、「重点プロジェクト」を従来の4項目から3項目へ絞り込みました。また構造面の変更として、前は別々に並行運用していた「総合計画」と「地方創生総合戦略」を今回は一本化し、人口減少対応も大きな枠組みの中で一体的に推進する体制とします。中身の主眼としては、前は「いかに人口減少を食い止めるか」でしたが、今回は人口減少の現実を受け入れた上で、「いかに賢く、持続可能なまちをつくっていくか」という点が重要なポイントであると認識しています。 橋本副市長：補足として、「ウェルビーイング」という概念を重視しています。前回当時よりも財政や人口減少、社会変化が複雑化・加速しており、強い危機感を持っています。今回の計画には、激しい変化を踏まえた「価値観の追求」という側面が含まれており、「持続可能なまちづくり」を大前提に3つの重点プロジェクトを通じて具体的な成果に繋げる考えです。 (質問２) 市 民：人口減少への対応について、他市町村では、合併後にプールや公民館などの類似施設が多数重複したため段階的に閉鎖を進めており、地域で話題になっています。名寄市の第3次総合計画では、こうした「箱物（公共施設）」に対する具体的な考え方や方針はどう示されているのでしょうか。 石橋総合政策部長：市内の公共施設は全体的に老朽化が進行しており、更新・建て替えを検討すべき時期にあります。今回の総合計画には「合理的なまちづくりの推進」という包括方針を掲げていますが、実際の統合や規模調整は、下位計画である「公共施設等総合管理計画」の中で具体的に調整します。最も重要なのは市民のニーズ変化です。対象施設の利用状況や稼働率を正確にデータ分析し、「いかに効率よく維持・運営できるか」を算出します。単に閉鎖するのではなく、今ある資産で最大限の効果を発揮できる収斂の形を、市民の皆さんの意見を伺いながら詰めていきます。 橋本副市長：スケジュール感を補足すると、下位計画の「公共施設等総合管理計画」の議論はこれから本格化します。7月末頃から、どのデータを基準として収集・分析していくかの検討を開始する予定です。財政や人口減少の進行は非常に厳しく、公共施設の見直しは避けて通れない議論であると庁内でも強く認識しています。
-------------	--

発言内容	(質問3) 市 民：これまでの総合計画は右肩上がりの経済成長に合わせた「拡張」ベースでしたが、現在は人口減少社会であり、これからは「縮小」を前提とした計画へ頭を切り替えるべきです。人口減少を食い止めたい期待は理解できますが、規模を広げるのではなく、小さくても持続可能なコンパクトなまちを目指すべきだと考えます。企業数や経済規模が縮小しても、市民が「ここが良い」と思える方向性を、行財政改革の視点と合わせて盛り込んでいただきたいです。 石橋総合政策部長：非常に重要な視点です。厳しいからと単に「縮小」を打ち出すだけでは市民の皆さんが誇りを持てず心寂しくなるため、本計画では「ひとづくり」を最重要視しています。子育て支援だけでなく、ご高齢の方も含めた「市民がどのように地域で活躍できるか」が一番のポイントです。高齢者の皆様には地域コミュニティの「知恵袋」として活躍していただき、予算投入ではなく市民が主役となる仕組みを作ります。先ほどの「ウェルビーイング」は分かりやすく言えば「市民の幸福度」です。これが向上するような「ソフト的な取組」が今後は極めて重要であり、今住んでいる市民が活躍でき、「楽しくなるまちだ」と感じられる計画につくり上げてまいります。 橋本副市長：ご指摘の通りです。名寄地区の学校は昭和50年代前半に建設され、名寄庁舎、風連庁舎、図書館、児童センターなども一斉に老朽化を迎えており、今後の維持問題に直面しています。人口が減少し規模が縮んでいく中であっても、より効率的で住民から「あって良かった」と言われる施設づくりと、そこで「何を行うか」という中身（ソフト）の議論が不可欠です。いただいたご意見を参考に計画を整理してまいります。
-------------	---